



独立行政法人 国立病院機構

三重中央医療センター

NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION MIE CHUO MEDICAL CENTER



# 三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

## 地域から信頼される 病院を目指して

三重中央医療センター  
院長 下村 誠



令和4年4月1日、新しく院長を拝命しました下村誠です。どうぞよろしくお願いいたします。私は三重県大台町の生まれで、松阪高校を出て三重大学に進み、卒業後は三重大学第一外科（現在の肝胆膵・移植外科）に入局し、開院の翌年1999年に初めて当院に赴任しました。10年間外科医として研鑽を積みましたが、2009年に松阪市民病院へ転勤し、2019年10年ぶりに当院に副院長として復職しました。

副院長として就任後すぐ、私は次の3つの目標を掲げました。

1. 地域の医療機関から選ばれる病院になる。
2. 地域の住民から選ばれる病院になる。
3. 医師から選ばれる病院になる。

1については、着任早々、地域の医療機関の先

生方を訪問して、直に当院の評価や当院に対する要望を伺いました。中には厳しいご意見もありましたが、多くの先生から最近当院が良くなってきている、とりわけ救急患者の依頼を受けてくれるようになったというお言葉を頂きました。2020年には地域の医療機関との連携をさらに進めていくために患者支援センターを設立しました。このセンターでは地域の医療機関からの紹介や逆紹介を円滑に進める地域連携室と、入院が決まった患者様の退院後の生活のことまで考え治療計画を立てる入院支援室を整備しました。今後も当センター

の活動を通して顔の見える地域連携を目指して参ります。

2については、まずは津市の2次救急病院としての役割を果たすことに力を注いできました。当院は一次脳卒中センターであり、急性心筋梗塞や急性腹症など多くの救急患者を受け入れております。今年度、当院は新たに常勤の救急医を招き、救急科を開設します。新救急棟の建設も決定し、今後ますます2次救急医療機関としての役割を果たしていくことで地域住民から選ばれる病院にしていきたいと考えています。

3については初期研修医の確保に尽力してきました。今年度は8名の新たな初期研修医の入職が決定し、総勢14名の初期研修医が当院で研修する予定です。また後期研修医も7名新たに加わります。指導体制を整え、若い医師の確保を着実に進め行くことが医師の働き方改革にも寄与します。医療水準を落とさないように、医師の働き方改革を進めながら、医師から選ばれる環境づくりを進めていきたいと考えています。

この目標は今後も基本的方針として継続し、真

に地域から信頼される病院を目指していきたいと考えております。

さて、2020年1月以来、新型コロナウイルス感染症は2年以上我々を苦しめ、通常診療や救急医療は大きな影響を受けております。第6波では職員一丸となって新型コロナウイルス感染症に立ち向かっており、三重大学医学部附属病院はじめ地域の医療機関様には多大なご支援をいただいております。院内の全職員および地域の医療機関の皆様には心から感謝いたします。新型コロナウイルス感染症は当院だけの力では乗り越えることはできません。地域の医療機関や医師会、救急隊、行政の方々と一緒に、今後どのように連携していくかを皆で考えていくことこそがアフターコロナの最も重要な課題だと考えております。新型コロナウイルスに限らず今後起こり得る新興感染症の重点医療機関として中心的役割を担っていくことも当院の重要な役割と考えております。

今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。





## 退任のご挨拶

～地域の急性期総合病院としてコロナ禍と対峙した日々～

名誉院長 田中 滋己

定年により2022年3月をもって院長職を退任いたしました。院長職を拝命した2019年12月に中国武漢で原因不明の肺炎事例が報告され、翌2020年3月にはWHOにより新型コロナウイルス感染症のパンデミックが宣言されました。院長職を務めた3年間の殆どが新型コロナウイルス感染症流行への対応を迫られた期間でした。この間、病院の診療機能維持のためにご尽力賜った関係者、職員の皆様には心より感謝申し上げます。

当院は津地域の医療圏で三重大学病院とともに数少ない総合病院であります。大学病院が津以外の広い医療圏から患者様を受け入れ、3次救急医療を担うべき病院であることを考えると当院は津医療圏で地域の皆さんに身近な医療を提供でき、地域医療機関との連携を密にできる唯一の総合病院であります。

病院長就任時には地域医療における当院の診療機能の重要性を認識していたにも関わらず、スタッフ不足などの影響で様々な領域で十分な医療提供ができないこともありました。当時は人材の確保、経営環境の改善が急務となっており、これらの問題解決のために2019年12月には病棟集約を行いました。小児科、耳鼻科、歯科口腔外科、皮膚科、などの混合病棟で患者様からも高い評価をいただいていた西2階病棟をやむなく休棟することになってしまいましたが、十分な診療機能の維持、効率の良い経営環境を達成するために断腸の

想いで断行した次第です。

この病棟集約の約2か月後の2020年1月には三重県における新型コロナウイルス感染患者の第1例が報告されました。その後は感染拡大が世界中に広がり、当院はパンデミックとなって繰り返し押し寄せる感染拡大の波の中で地域医療における当院の役割を死守することに専念してきました。

こうした状況において国や地方自治体など行政からの支援があり、地域医療の充実を目指して計画していた救急外来棟の増築、救急科の新設が漸く実現される運びとなりました。今後は救急医療体制の充実により地域の医療機関との更なる連携強化を図り当院の役割を充実させていけると確信しています。

年頭のご挨拶でも申し上げましたように、新型コロナウイルス感染を乗り越える時期はそう遠くないと考えています。地域で信頼される急性期総合病院を目指して医療機能を充実させていく当院の立ち位置に変わりはありません。この目標に向かって、時には回り道を余儀なくされるかも知れませんが、職員一丸となって努力していけば必ず皆様に満足していただける地域の基幹病院となるはずです。

当院のこれからの可能性に期待すると同時に、院長在任中の3年間に賜った皆様のご支援、御理解、御協力に心から御礼申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



## みなさん大変お世話になりました — 定年退職に寄せて —

谷川 寛 自

2022年3月末をもって定年退職いたしました。

1982年に医師になり40年間現役で外科医として勤めさせて戴くことができましたのも、家族を始め友人、外科の同僚や同門の先生方、病院医局の先生方のみならず全ての部門の職員の皆様のご支援、ご協力の賜物と心から感謝しております。しかし継続できた最大の原動力は、たくさんのお患者さんならびにそのご家族の皆様との出会いのご縁を頂き、深く人生と関わる機会を頂き続けたことです。何ものにも変えることができない人生の宝となっています。

2000年1月に前身の三重中央病院に赴任してから、勤務医人生の半分以上を当院で過ごさせていただきました。難しい手術にも積極的に取り組んできましたが患者さんの希望に沿った満足な医療提供ができているのだろうかと思慮することも多くありました。

消化器疾患とりわけがんの手術が多く、手術で病気が良くなられた患者さんには恐縮するほどのたくさんの感謝の言葉を頂戴いたしました。しかし悶々としていたことは、手術では治らないがん患者さんに対する終末期治療のあり方でした。最後まで自分らしく過ごす援助ができたでしょうか、痛みなどの辛い症状は十分緩和できていたでしょうか自問自答する日々でした。緩和治療を十分提供できたか悩みつつ医師一人での対応に限界を感じ、がん患者さんの終末期の様々な苦痛をチームで対

応できないか、そんなチームがあれば患者さんへもっといい医療が提供できるのではないかと強く思うようになりました。丁度日本でがん対策基本法が制定されるなど時代の追い風に乗ってチームを作りあげることができ現在にいたっています。色々な職種が集まるチーム医療を提供する組織づくりができたと思います。

また別の話ですが、当院のエントランスホールは広く天井も高くコンサートホールみたいでここでコンサートが開けないかとずっと妄想していましたところ、幸い色々な方との出会いやご縁をいただき病院職員にも後押しされコンサート開催が実現しました。コロナ禍に至るまで毎年開催（13回）しました。患者さんならびにご家族の方から、ひと時の癒しの時間が得られたことの喜びや感謝の言葉をたくさんいただきました。

私たち医療者は患者さん目線から物事を考えることがとても大切です。患者を意味するpatientという英単語の意味は、「忍耐強い、我慢強い」です。「病気で患者になる」ということがなんと大変なことか、私たちは常にそのことを考えながら診療にあたる必要があります。

「人に施したことはすぐ忘れろ、しかし人から受けた施しは一生忘れるな。」をモットーに過ごしてきました。この人生訓はこれからも大切に生きていきたいと思っています。今後は「値踏みの見直し」を行いながらできること、できない

ことを自覚してこれからの人生を過ごしていければと思っています。

与えられたチャンスの見定めや自分が置かれている環境（組織内、個人）は重要ですが最も重要なのは良好な人間関係の構築（コミュニケーション）にほかなりません（「天の時、地の利、人の和」）。今後も三重中央医療センターが地域住民の皆さんに寄り添い信頼され暖かい医療が提供できる病院であってくださることを願っています。

時間は過ぎ去ってみれば一瞬です（旬は一瞬）。

インドでは人生を4つに分けて暮らす考え方（四住期）があります。私は現在林住期（50～75歳ごろ）とあって勤めを一段落して人生の本質を見つめる熟年期にあたります。これからも多くの人との出会いのご縁を頂き日々精進していきたいと思っています。

今まで出会った全ての皆さんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。またいつかお会いできる日を楽しみにしています。

## 日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定制度 認定医



呼吸器外科 渡邊 文亮先生

日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定制度とは、医療安全の観点から呼吸器外科領域における胸腔鏡手術が安全に実施されるシステムを構築することを目的とし、胸腔鏡手術を安全かつ円滑に施行可能な知識と技術の普及を促すと同時に、同手術を実施する医師の安全技術を客観的に評価・認定する制度です。呼吸器外科領域は2021年度から開始となっており、第1

回の認定試験での合格となりました。県内でもトップクラスの内視鏡手術の技術が行われていることが示されたこととなります。

## 赴任された先生

### 新生児科 乙部 裕

こんにちは。新生児科の乙部裕と申します。2015年に三重大学を卒業し、小児科専門医を取得して、新生児専攻医として当院へ赴任することになりました。県内随一の新生児医療に携われることを幸せに感じています。

趣味はテニス・自転車・読書です。本は専ら小説を読んでいます。昔から好きな作家は伊坂幸太郎です。

真摯に職務に取り組みたいと思います。よろしくお願いたします。



## —がん治療について—



### 新型コロナウイルス流行と“がん”

がん診療部長 湯 浅 浩 行

みなさんこんにちは。消化器外科の湯浅です。最近、新聞などでよく取り上げられていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、がん検診の受診率低下が問題視されています。日本対がん協会の調査では、2020年度のがん診断件数が9.2%減少したと報告されています。がん検診をはじめ各種検診が病院で一時中断されたことに加え、感染を恐れて受診控えや通院控えなどで検診受診者や通院者が減ったことが影響していると分析されています。“がん”に罹患する人の割合は毎年ほぼ変わらないので、検診や通院ができていれば発見できた“がん”が、約9%あったと推測され、今後、進行がんの発見増加が懸念されるとの事です。がんを撲滅するためには、生活習慣を改善し、予防することも重要ですが、適切な検査を受け、早期発見も非常に重要な要素です。早期に発見されるほど治療選択肢は広がりますが、進行して周囲臓器に浸潤したり、肝臓や肺に遠隔転移を起こすと治療選択もかなり厳しくなってしまいます。全国推移と同様に当科でも、進行して発見される消化器の“がん”の患者さんが増加していますので、可能なら検診を受け、少なくとも何か症状があった場合には速やかに検査を受けることをお勧めします。

当科では消化器内科で診断された消化器がん（食道癌、胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆道癌、膵臓癌など）の手術治療、薬物治療を担っており、治療方針は各種疾患ガイドラインを遵守し、術前の検討会にて術式を決定しております。“がん”の根治度を損なわず、体に優しい低侵襲手術を心掛けており、昨年の総手術件数540件のうち318件（58.9%）に腹腔鏡手術を行っております（手術症例の内訳については当院ホームページを参照下さい）。その他、乳癌や一般的な外科疾患の胆嚢結石やヘルニア（脱腸）、虫垂炎、イレウスなどの手術も対応しておりますので、手術内容で心配な方は、気軽に外科外来へご相談ください。「最適な医療を行う」をモットーに安全で適切な外科治療の提供を行っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

# がん相談支援室 制度案内

## 限度額適用認定証(70歳以上)について

70歳以上の方は医療保険証を提示頂くと自己負担額までの支払いになりますが、現役並み所得の方や非課税世帯の方は限度額適用認定証を申請し窓口へ提示頂くと自己負担額が変わります。

### 70歳以上の方

区分		1ヶ月の自己負担限度額(世帯ごと)		多数該当
		外来(個人ごと)		
現 役 並 み	Ⅲ 健保： 標準報酬月額83万円以上 国保： 課税所得690万円以上	252,600円 + (総医療費-842,000) × 1%		140,100円
	Ⅱ 健保： 標準報酬月額53~79万円 国保： 課税所得380~690万円未満	167,400円 + (総医療費-558,000) × 1%		93,000円
	Ⅰ 健保： 標準報酬月額28~50万円 国保： 課税所得145~380万円未満	80,100円 + (総医療費-267,000) × 1%		44,400円
一 般		18,000円	57,600円	44,400円
非課税世帯(低所得Ⅱ)		8,000円	24,600円	
非課税世帯(低所得Ⅰ)			15,000円	

多数該当：高額療養費の支給回数が過去1年間で4ヵ月以上になる場合、4回目以降は自己負担限度額が軽減されます。

※食事代や差額のお部屋代、文書代など保険適用外の費用は対象になりません。

※月別、医療機関別、入院と外来、歯科は別で計算します。



がん治療を行う上で検査や入院  
外来でも高額なお薬の治療を続ける場合  
医療費がどれくらいかかるか分からず  
支払いができるかの不安になることがあります。  
医療費のこと、お仕事のことなど一緒に整理しながら  
考えさせていただきます。  
1階1番窓口左側にある患者支援センターへ  
お気軽にご相談ください。

# 患者支援センター ご利用方法

- 開室時間 8:30～17:00  
(平日の月曜日～金曜日)
- 予約優先です。相談室窓口でもご予約いただけます。
- **ご入院中の場合は病棟看護師へお申し出ください。**
- 外来時は主治医へお申し出ください。
- 医療安全に関するご相談もお受けいたします。



- 日常生活でご不安なこと・困っていること
- 医師からの説明等ご不明なことについて

がん相談支援  
看護師



- こころの悩み
- 不安・心配ごとなどの相談

臨床心理士



- 医療費や生活費などの経済的問題に関する相談
- 社会制度、社会保険制度等紹介・利用相談

医療福祉  
ソーシャルワーカー



- 退院後の生活でご不安なこと困っていること
- 退院先の相談・調整について

退院調整  
看護師





## 「里山こころの便りー柵原の窓から」

### 眠れない？ 良い睡眠のために～朝の始まり編～

この原稿を書いている今は梅が咲きはじめました。皆さんがこれを読んでくださっている頃には桜が咲いているかもしれませんね。厳しい寒さを越えて、ようやくうららかな過ごしやすい時期になりました。春眠暁を覚えず、でしょうか。これは朝の寝起きが気持ちよい状態を指し、さながら気持ちが良すぎて二度寝してしまうような感じですね。

さて朝の眠気はさておき、しっかりとした睡眠はとれていますか？睡眠は日中の活動の質に深く関係しており、長い目で見ると認知症になるリスクにもなると言われています。良い睡眠をとるためには、日々の生活リズムを整えることが大切です。もともと人間の脳の時計は一日が24.2時間になっているので、放っておくと段々地球の一日とずれてくることになってしまうので、この生活リズムを整えることが大切なのです。

それでは、どうすれば生活リズムを整えれば良いのでしょうか。それには、まず朝から始まります。朝起きたら、まず日の光を浴びましょう。日の光は目から入って脳のスイッチを入れます。そして朝食をとりましょう。朝食が体から一日のスイッチを入れてくれます。私もかつて朝が弱かったのですが、パンとコーヒーをとるようになっていました。

次回は良い睡眠のために～寝る前編～をお伝えします。



村田昌彦

柵原病院  
院長



## 「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構  
三重中央医療センター  
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5  
TEL. 059-259-1211 内  
地域医療連携室

国立病院機構  
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。  
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。  
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わることがあります。)

■会員証  
住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_  
電話 \_\_\_\_\_

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集  
後記

春は別れと出会いの季節と言われますが、当院でも退職・異動される方がいる一方で、新しく入職・赴任される方もいます。「三重中央だより」の編集スタッフにも入れ替えがあり、2年間携わらせていただいた私も今号で交代となります。広報誌を作るという仕事は初めての経験で力不足を感じることもありましたが、何とか“完走”することができました。今後の「三重中央だより」もご愛読よろしくお願ひいたします。(水)

発行所

三重中央医療センター

院長 下村 誠

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.miechuo-hosp.jp/>

# ●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●●

## やまぐちクリニック



当院は国道23号線垂水交差点から南が丘団地への入り口にあります。生活習慣病（高血圧症、糖尿病、脂質異常症、禁煙治療、高尿酸血症等）の治療、特定健診、がん検診（胃内視鏡検査、心電図、超音波検査、24時間心電図）、各種予防接種等で地域の皆様のお役に立て

るよう努めております。また、会社帰りの患者様が受診しやすいように19時まで診療をしております。

三重中央医療センターの各科の先生方にはいつもお世話になっており、今まで通り良好な病診連携をお願い申し上げます。

院長：山口 孝幸  
 （総合内科専門医、循環器内科専門医）  
 住所：〒514-0821 津市垂水2797-1  
 電話：059-224-7777 FAX：059-224-7770  
 診療科目：内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、小児科、アレルギー科、皮膚科  
 休診日：木・土曜午後・日曜・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	○	○	○	○	○	◎	△
15：00～19：00	○	○	○	△	○	△	△

◎：土曜日は9：00～13：00

## 花の道 こてら整形外科クリニック



当院は令和4年2月8日に高野尾町に開院しました。のどかな田園地域、季節の花々が豊かな津関線沿いにあるため、「花の道」と付けさせて頂きました。三重県各地の病院で培った整形外科の知識、手技を生かして地域の皆様の健康増進、疼痛緩和につながるよう努めていく所存です。

ホームページ：<https://kotera-seikei.com>

整形外科疾患、外傷には、手術が必要な場合が多く、貴院整形外科にお助けしいて頂くことも多いかと思われます。今後も宜しくお願いします。



院長：小寺 秀樹  
 住所：〒514-2221 三重県津市高野尾町1897-74  
 電話：059-271-8739 FAX：059-271-8740  
 診療科目：整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科  
 休診日：木・土曜午後・日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	△
15：00～18：30	○	○	○	△	○	△	△

## 前川内科

ホームページ：<https://maegawanaika.com/>



当院は前院長である父が平成10年に津市垂水に開業し、令和3年に院長を世代交代いたしました。

一般内科の診療、特に消化器系の診療に力を入れています。内視鏡検査は経鼻内視鏡と大腸内視鏡を行っており、丁寧に確実な検査を心掛けております。他に

は各種健診、予防接種なども行っております。

父と私が生まれ育ったこの地域で皆さまのお役に立てるように頑張っていきますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

院長：前川 直志  
 医師：前川 彰（前院長）  
 住所：〒514-0821 津市垂水南浦1425  
 電話：059-221-3700 FAX：059-221-3888  
 診療科目：内科、消化器内科、内視鏡内科、肝臓内科、アレルギー科、小児科  
 休診日：木曜午後・日曜・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	●	○	●	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	○	△

○・・・前川直志（院長） ●・・・前川彰（前院長）

※上部内視鏡検査は診療時間前、下部内視鏡検査は昼休みにも行います

## ゆうあいクリニック

ホームページ：<http://yuuai-clinic.com>



H20年4月に津市雲出本郷町131-83（旧池田外科）にて「ゆうあいクリニック」をあらたに開院し、現在に至っています。

28年間の勤務医時代の経験を活かし、一般内科、外科、のほか呼吸器、乳腺疾患などの専門外来を総合病院

や専門医の方々と密接な連携を取りながら診療し、地域の皆様のお役に立てる医療を目指しています。

また、現在まで20年以上トヨタ自動車（株）本社などの産業医を継続しておりますが、これらの経験をもとに働く人々の心身の健康保持増進にも力を入れています。

これからも皆様に信頼していただけるクリニックとなるようスタッフ一同誠心誠意努めてまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

院長：浦上 年彦  
 住所：〒514-0304 津市雲出本郷町131-83  
 電話：059-234-3344 FAX：059-234-3655  
 診療科目：内科（呼吸器科、消化器科、循環器科）  
 乳腺外科、外科、リハビリテーション科  
 呼吸器専門外来（精査、治療、専門病院との医療連携、気管支喘息、COPD、肺がん、睡眠時無呼吸、禁煙外来など）  
 健診（会社：雇い入れ、特殊健診、じん肺健診など）、がん検診  
 休診日：木曜日・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△

土曜日の午後は14:00～17:30



# 外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。  
 (水曜日の泌尿器科と耳鼻咽喉科は10:00までの受付です)  
 ●病棟入院患者様の緊急処置・手術・検査等のため、外来診療に制限を設けなければならないことがあることを御理解ください。

2022.4.1 現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	田中 淳子【循】	田中 剛史【糖】	後藤 浩之【糖】	
	2診	新谷 卓也【循】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】	川崎 敦【循】	岡崎 貴大【循】	
	3診	北出 卓【消】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診	内藤 雅大【呼】	宗吉 佑樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診		岩中 宗一(2,4,5週)	井端 英憲(午後再診)		
		6診		井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕	
	(整形1診)		井端 英憲	井端 英憲			
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦	岡崎 貴大(午前再診)	福岡 秀介	
	消化器内科	7診	子曰 克宣	北出 卓	渡邊 典子	倉田 一成	
	内科	8診	岡崎 貴大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】		田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	内藤 雅大【呼】	内藤 雅大【呼】	奥田 昌也(1,3週)【糖】 田中 崇(2,4,5週)【糖】	岡野 智仁【呼】
	(泌尿器1診)		宗吉 佑樹【糖】				
	(整形2診)			西村 正【呼】			
腎臓内科	6診	村田 智博					
肝臓内科	5診			吉川 恭子(1,3週)【消】			
(整形3診)					吉川 恭子【消】		
ペースメーカーチェック		第1月 午後			第1木 午前		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	賀川 賢	北川 長生	
	2診	大内 智洋	賀川 賢	賀川 賢	大内 智洋	吉丸 公子	
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	小川 昌宏	内園 広匡(1,3,5週) 北村 創矢(2,4週)	内園 広匡	大槻 祥一郎
		3診	田中 滋己	親子支援	大森 あゆ美	小川 昌宏	小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	小児科医師	2週間・1ヶ月健診	内園 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	大森 あゆ美(1,3,5週) 佐々木 直哉(2,4週)
		2診	小児神経外来 内園 広匡(2,4,5週)		佐々木 直哉(1,3,5週)	内園 広匡(1,3,5週)	成長外来
		3診	小川 昌宏(1,3週)	NICU連携 心工コー外来(1,3週)	小川 昌宏		シナジス外来
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
消化器外科	1診	湯淺 浩行	辰巳 亜依	松田 明敏	信岡 祐	林 泰三	
	2診	信岡 祐	下村 誠	水上 拓哉	林 麻末	湯淺 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						安達 勝利	
乳腺外科(予約のみ)						石飛 真人	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
形成外科 ※第一週(祝日の場合は第二週)は休診				石浦 良平 (最終週は三重大学医師)			
脳神経外科	1診	石田 藤麿	山本 陽子	池澤 宗成	田中 克浩	山本 陽子	
	2診		石田 藤麿		池澤 宗成	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)						西川 拓文	
呼吸器外科	1診		安達 勝利		渡邊 文亮	安達 勝利	
	(脳外1診)		渡邊 文亮				
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹		荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹(初診)	
	(整形1診)						
	(整形3診)		筏井 亮太		筏井 亮太		
産科・婦人科	午前	1診(初診)	北村 亜紗	前川 有香	張 凌雲	加藤 麻耶	奥村 亜純
		2診	加藤 麻耶	横山 由佳	柏原 優花	前川 有香	柏原 優花
		3診	張 凌雲		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
午後	1診	北村 亜紗	前川 有香	張 凌雲	加藤 麻耶	奥村 亜純	
	2診	加藤 麻耶	横山 由佳	柏原 優花	前川 有香	柏原 優花	
	3診	張 凌雲	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一		
	4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)					
眼科(木曜日は紹介状ありの初診のみ)		三羽 晃平	三羽 晃平	三羽 晃平	三重大学医師	三羽 晃平	
耳鼻咽喉科	午前(初診)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	(火曜日・金曜日は紹介のみ)				伊藤 由紀子(2,4,5週)		
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来				
放射線科(画像診断)		奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	
放射線治療 (事前予約のみ)	午前		二見 友幸				
	午後	笹岡 政宏		笹岡 政宏	二見 友幸		
リハビリテーション科		山口 敏郎		田中 雅		高北 久嗣	
歯科・歯科口腔外科 (金曜日は再診のみ)	午前	柳瀬 成章/加納 慶子 若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/加納 慶子 若林 宏紀	柳瀬 成章/加納 慶子 若林 宏紀	福原 大樹	
	午後	柳瀬 成章/加納 慶子 若林 宏紀	柳瀬 成章/三重大学歯科	柳瀬 成章/加納 慶子 若林 宏紀	若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談
月・火曜日 午前診療	水曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	月曜日 午後診療
循環器内科(新谷)	形成外科(石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	助産師外来	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
金曜日 (10時~12時30分)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・水・木・金曜日 午前・午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(西川)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(石飛)